

【シリーズ宗教と差別 第3巻】

差別の地域史

渡辺村からみた
日本社会

歴史

監修 磯前順一、吉村智博、浅居明彦

編集 小倉慈司、西宮秀紀、吉田一彦

▼A5判・並製カバー・280頁・定価三、〇八〇円

2023年2月刊行



渡辺村を語らずして、日本の歴史は語れない。時の権力によって移転を余儀なくされた賤民集団の存在。江戸時代に西日本の一大皮革集積地となった大坂・渡辺村とはどのような関わりがあるのか。知られざる古代〜中世の信仰や生業、近代までの歴史を追った書。

【目次】

巻頭言 (磯前順一・吉村智博・浅居明彦)
対談

出会いと共感が創りだす新しい部落史

(浅居明彦×磯前順一／司会・吉村智博)

歴史

第一章 すべては、移転からはじまった

―中世大坂の賤民と「渡辺」― (吉村智博)

信仰

第二章 坐摩神社から浪速神社へ

―「渡辺」と神社の深い関係― (西宮秀紀)

第三章 親鸞系諸門流と被差別民

―西本願寺・本照寺・万宣寺・穢寺をめぐる― (吉田一彦)

生業

第四章 皮革づくりは穢れているか

―差別の始まりを考える― (小倉慈司)

第五章 牛の皮はこうして運ばれた！

―渡辺村商人の東アジア広域ネットワーク― (阿南重幸)

第六章 皮革は朝鮮半島からもやってきた

―西浜の皮革業と牛皮― (割石忠典)

特論 近代史の窓から (吉村智博)

文献ガイド

あとがき

【シリーズ全巻構成】

- 第1巻：差別の構造と国民国家―宗教と公共性―
- 第2巻：差別と宗教の日本史―救済の可能性を問う―
- 第3巻：差別の地域史―渡辺村からみた日本社会―
- 零 巻：きよみず物語―被差別信仰論―

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館 定価三、〇八〇円	
監修 磯前順一、吉村智博、浅居明彦	
差別の地域史	
―渡辺村からみた日本社会―	
【シリーズ宗教と差別 第3巻】	
ISBN:978-4-8318-5723-1 C1321	
お名前	ご住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp